

「ホタル」を通じて、みんなの心も光輝く
ふるさとにしていきたい・・・



神楽山遊歩道の「ホタル」

“撮っておき” の たかはま 【第10回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

高浜市の東端部に位置する清水町は、豊かな自然に恵まれているのが大きな強みだ。「かつてはこの地域でもホタルが舞い飛び姿が見られた。ホタルが生息できる自然環境を復活させたい。」そんな想いから地元住民が中心となって「神楽山ホタル会」を立ち上げ、平成23年1月から活動を始めた。メンバーは現在48人。ヘイケボタルの幼虫の飼育にあたっては、朝昼晩・年中無休で、餌やり、水温・水質管理を行っている。地道に努力を積み重ねてきた結果、幼虫数は約2万匹にまで増えた。そこで、昨年、ひかり幼稚園近くにある神楽山遊歩道や清水町町内会拠点施設周辺の用水路へ、幼虫の放流を本格的に行うようになり、今年は4,500匹を放流した。

神楽山ホタル会の鈴木文夫さんは次のように語る。「当初は幼虫の養殖に悪戦苦闘しましたが、年々ノウハウを身につけ、今では非常に高い生存率を維持できるようになりました。昨年は放流した幼虫が無事に成虫に育ち、光を放って飛び立つ姿も確認することができました。放流会や観賞会といった、親子や三世代で楽しく自然に触れ合える機会を設けることにより、少しずつ地域の輪も広がってきたように感じます。」

成育が順調なら5月下旬からホタルが飛び姿を見ることができ、最盛期は6月中旬です。6月15日(日)午後7時から「ホタル観賞会」が行われます。

LELA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでもください！

広報 たかはま

編集・発行／高浜市役所総合政策グループ
〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。

VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。